

2016年度（平成28年度）事業計画

1. 診療所運営・援助事業

(1) 運営に対する援助

- ・クリニック経営への積極的な参画、支援。
- ・クリニック自主経営を推進、基金負担比率見直しにつき機会をとらえ協議。
- ・3拠点派遣医師の勤続状況を踏まえ、各クリニックの中期的な展望を協議。

① シンガポール日本人会クリニック

- ・独立採算体制（JOMF人件費支援なし）は構築済。
- ・医師のキャリアアップ支援をJOMFは支援。
- ・中期的な日本人医師交代可能性に対する対応、クリニックの共益的な位置づけによる他民間クリニックとの差異化を日本人会と協議しながら推進。
- ・人間ドック受診者数増を支援。

② マニラ日本人会診療所

- ・JOMF人件費支援を含みクリニック部門の黒字体質は定着。
- ・黒字を前提に今後の現地負担見直しを継続的に議論、ただし検査機器老朽化に伴う更新など目先の投資も必要との情報あり。
- ・診療所運営委員会に出席し、クリニック経営への参画、コミュニケーション強化。

③ JJC(ジャカルタジャパンクラブ)医療相談室

- ・昨年8月着任の伊藤後任医師の立ち上げ支援、受診者数増加の施策立案。
- ・共愛、日本人会、クリニック（JOMF）三者のWIN-WIN関係構築の支援。
- ・16年1月のインドネシア当局による外国人医師在籍クリニック査察に伴い、今後の日本人医師の位置づけを中期的にJJC/大使館も入れて協議。

(2) 外国人医療従事者の日本研修

- ・ジャカルタあるいはマニラのクリニック従事者1名を研修予定。

2. 海外医療情報普及・相談事業

(1) 情報の収集と提供

① ホームページ

- ・基金情報発信の核となるプラットフォームの位置づけとして、会員サービス強化及び基金活動のPRを念頭に運営する。⇒ アクセスログ分析をベースに。
- ・会員にインセンティブのある情報を会員サイトに集約する。
- ・過去の医療相談などアーカイブ化を図り、会員による検索の利便性向上を図る。

② ニュースレター

- ・以下を外部企画として継続。
 - *海外歯科相談に関するシリーズ（相談会参加の歯科医師）を継続。
 - *海外生活と子どもの健康コラム（鈴木洋先生）を継続。
 - *海外で活動中のカウンセラーによるメンタルヘルスのコラム新規掲載を検討。
- ・ノーラ・コーリさん「海外の出産・子育て」シリーズ メキシコ編掲載予定。

③ 冊子

- ・メンバー認知度向上のため「JOMF活用ガイド」と共に、配布先、送付先を拡大。

- 感染症と予防接種を改訂。
- 既刊で好評の冊子を増刷。

④ 海外医療情報交換会

- テーマを検討中。
事業活動PRも含め会員に訴求すべき基金の活動を議題に追加する。
- 映像・画像を取り入れ、わかりやすく楽しい雰囲気を心がける。
*時期：11月頃（予定）@東京
従来通り、大阪でもサテライトセミナー開催予定

⑤ セミナー

- 目的：会員の要望に応じたテーマ設定を行い、会員サービス向上を目指す。
- 開催地：東京、大阪に加え、名古屋地区でも実施を予定。
- 回数：全体では3回（1～2テーマ）。
- その他：海外在住会員の参加可能性を検討。

(2) 海外からの医療相談

① 小児相談『JOMF-キッズネット』(電話/掲示板)

② 成人一般(婦人科含む)、歯科相談(掲示板)

③ メンタルヘルス相談(メール)

- PR活動強化による利用促進
*メール発信(ニューズレターとの連携も)、会員企業の訪問強化などにより、
機会あるごとに紹介

④ 一般問い合わせ

- 会員企業(国内のご担当部門)からの問い合わせ・相談への対応が必要、そのために
情報収集力の強化が課題。
*様々な情報ソース(検疫所、学会、渡航クリニック等)との連携
*会員企業間での情報交換プラットフォームの構築(勉強会活動等)
*データベース整備による過去情報のアーカイブ化(古い情報の峻別)
→新システム導入検討中。
- 貴重な医療相談事業を活用した情報ネットワーク構築の可能性検討。
- 非会員企業からの問い合わせに対する効果的、効率的な回答方法を検討。

3. 海外医療事情調査・研究事業

- 派遣医師、専門科目巡回相談などの医療事業と連携したテーマ検討。
*会員企業向けデータとして会員サイトで紹介。
- 関連学会・講演会等からの情報収集
引き続き以下のような団体・機関と継続的に交流し、ネットワーク構築による情報収集を図る。学会やフォーラムなどへの積極的な参加を通し、情報の発信、入手の双方向コミュニケーションを実行。

- | | | |
|--------------|------------|-------------------|
| ● 国立感染症研究所 | ● 日本渡航医学会 | ● 日本熱帯医学会 |
| ● 日本感染症学会 | ● 性の健康医学財団 | ● 日中医学協会 |
| ● 母子衛生研究会 | ● 日本こども学会 | ● 日中医学交流センター |
| ● 日本在外企業協会 | ● 東京医科大学病院 | ● 予防接種リサーチセンター |
| ● 西新橋クリニック | ● 日本産業衛生学会 | ● 海外勤務者健康管理全国協議会、 |
| ● JAMS ネット東京 | 他 | |

*感染症関係（デング熱）で16年度も厚労省プロジェクトに参画予定（シンガポール及びマニラクリニック医師も含む）。

*日本渡航医学会産業保健委員会メンバーとなり産業医とのコミュニケーションを深める。

4. 専門科目医師派遣による海外医療相談事業

- 会員企業向けの広報を強化し、相談者の会員比率の向上。
- 15年度実施都市、科目は原則継続。
- 新規施策：
 - * インドでの実施を目指し、調査予定。
 - * 新規実施地域と医療科目拡大とを経費効率を考慮して検討。

5. 外務省巡回健康相談 受託事業

- 16年度も外務省競争入札は実施されない見通し。
→ 公益目的支出計画・継続事業としては廃止。

6. 海外健康診断 受託事業

- 現地での受診対応会社が増加する傾向。日本受付は減少の方向だが、駐在員及び派遣企業にとり現地健診は大きなメリットと認識。会員サービス向上、かつ各診療所の運営を支える重要な事業として継続。
- 診療所との連携を図り、サービス内容を適宜見直し、日本側でも利用促進を各会員企業・団体にPR。

7. 基金運営、その他

- 中期経営計画のローリング作業実施。
⇒ 収支均衡に向けた継続的な検討をする。
- 17年度新役員、執行部体制への移行に向け、将来へ引き継ぐべき事業シナリオ準備。

以上